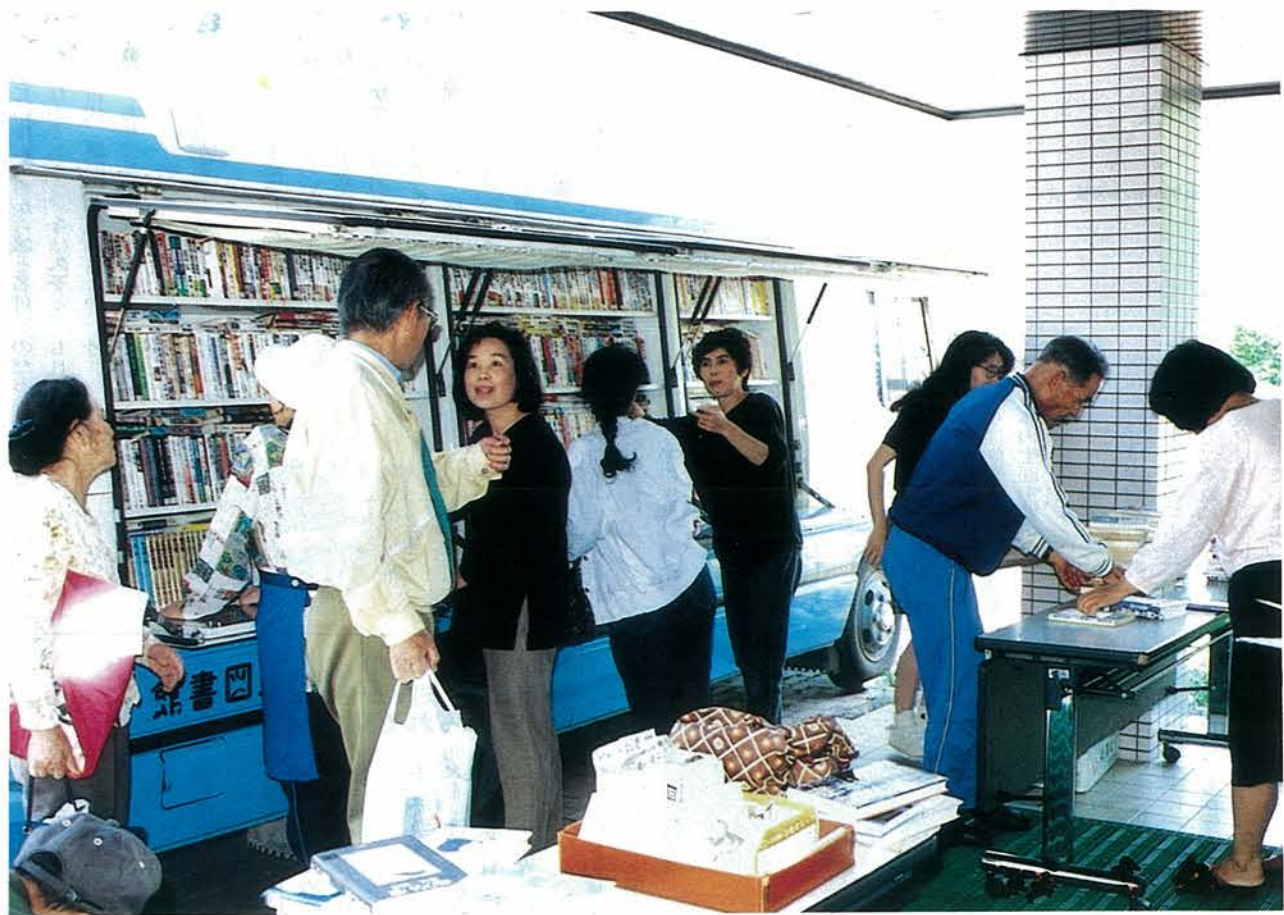


発行所
津 奈 木 公 民 館
芦 北 郡 津 奈 木 町
電 話 (78) 3111 代
印刷所 旭 印 刷
電 話 (水 俣) 64101 番

津 奈 木



津奈木町の図書館は眠っています。起こして活性化したいものです。毎年何十万円かの多額の予算を使つて本を購入してあります。是非町の図書館に足を向けて下さい。

今の若い人の図書離れが云われて久しい。図書館活動を活発にして知的文化の向上を皆さん望んでいます。心を豊かにしお互いの地域の向上にも繋がると思います。県立図書館の移動図書の日を楽しみにしている方も多く、一人で何冊も持つていかれる、この意欲で町の図書もどしどし借りて読んでほしいものです。多くの町民の方々が大いに利用されることを期待しています。

“秋の夜長に” 図書の利用を

一言

50才を過ぎるとやたらと健康の事が気になる。新聞の健康欄、折り込みの健康食品のチラシが目が行ってしまふ。健康は人間にとって一番大切なもの、欲しいものの一つかもしれない、私の体も曲がり角の様だ。町の健康診断で肝実質エコー増強と胆のう結石の病名を頂く。肝実質エコー増強というのは肝臓に脂肪が付きはじめている状態をいい食べ過ぎ、飲み過ぎ、運動不足の人によく見られるという、私にも心あたりがある。食料がありあまる時代がゆえに食生活をコントロールできないで健康を損ねている、厚生省も成人病を生活習慣病と名称を変え、予防をより重視した対策に取り組む方針を発表した。知らず知らずのうちに悪い習慣が悪い結果を作っている。我が家の食卓も変わってきた。なるべく野菜をふんだんに使う様努めている。食事の他に心の持ち方も病気に関係するといふ。一つの事をプラス思考するのと、マイナス思考ではストレスのたまり方が違ふといふのである。このストレスが体に良くないらしい。健康を保つ為には人間関係をも円満に保たなければならぬ様だ。これから健康を手に入れる為に、食事・運動・心の持ち方に気をつけて過ごしたいと思っている。

(岩崎美津子記)



庁舎美術館 (68)

油彩
「ブローニーユの森」一九六四
境野一之作

そうです。私たちは、この森に捧げられたものなのです。
森の優しい声を聴きに私たちはやつてくる。
性愛の誘惑者と共に
あの夢想家たちもやつてくる。
そして、この森の精のこぼれに聴き惚れた。

平成八年度 町民体育祭

(総合得点表)

地区名 種目	竹中	染井	浜崎	桜戸	町中	新川	古川	大泊	中尾	古中	倉谷	内野	上下	川内	福浦	平国上	平国下	日当	日添	小津	丸岡
男子ソフトボール	13	17	12	12	12	12	19	12	12	12	19	21	12	12	20	12	17	12	12	17	17
女子ミニバレー	12	12	12	17	12	12	12	12	12	17	20	12	21	0	17	19	19	17	12	12	13
野球	11	21	19	17	11	11	11	11	11	13	11	19	17	11	11	20	17	11	17	13	0
競舟	19	16	13	13	16	23	27	27	19	22	19	22	13	16	27	22	28	30	27	29	0
陸上競技	3	17	10	12	1	4	7	9	14	6	15	8	12	5	20	17	18	19	21	13	3
総合得点	58	83	66	71	52	62	76	71	68	70	84	82	75	44	95	90	99	89	89	84	33
総合順位	18	8	16	12	19	17	10	12	15	14	6	9	11	20	2	3	1	4	4	6	21



つわぶきセミナー現地研修

去る十月十六日(水)、会員二十三名が参加して現地研修を行いました。午前八時三〇分に文化センターを出発、県立美術館に十時四〇分に到着、ノートン美術館展を見学し午後からめつたに行くことのない熊本城や市立博物館の見学研修を行い楽しい現地研修ができました。普段は会員どうしの会話もあまりできませんので、この現地研修は会員の楽しみのひとつになっています。

コロちゃんのもうと・はじめのやまのぼり・ポケットがないカンガルー・ひらめき美術館・かいじゅうたちのいるところ・おばあちゃんがいるといふところ・おすもろのみなさんのたんじょうび・おすもろさん・転校生は宇宙人?・子どもべやのおぼけ・きょうりゅうほねほねくん・あつがりネコ海いく・学校の怪談たんてい団・おじいちゃんの口笛・カッパの三平・怒りくる地下マンモス・ミステリーサークルの謎をとけ・おばけレストラン・おばけ宇宙大戦争・ノントンことは絵事典・ゴッホの絵本・ゴッホの絵本・ルノワールの絵本・ピカソの絵本・ド

ラえもんのことば辞典・ドラえもんのかん字じてん・ドラえもんの生物がよくわかる・ドラえもんのすらすら作文が書ける。日本の産業がわかる。日本の歴史がわかる。①・小学生らくらく勉強法・ひみつ道具完全大事典・人形がこぞえる子もいた・冒険がいっぱい・きらめいて川は流れる・ユンボの日記・アリーナと風になる・帰ってきたナチ・アウトドア発見図鑑・アウトドアこたわり図鑑・アウトドア基本図鑑・花子さんがきた①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩・おもしろ心理ゲーム・ドッキリ心理ゲーム・やったネグ大成成功おまじない。

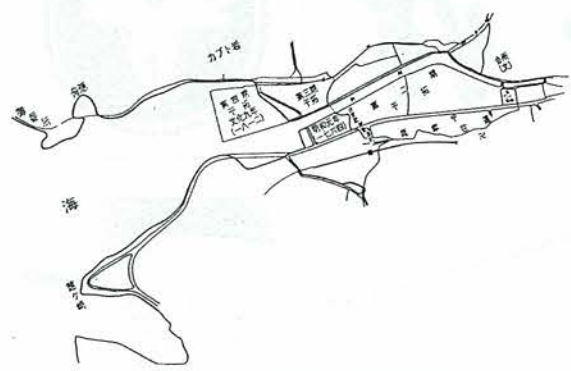
新・図書紹介

海と緑をつなぐ② 桜戸と久子

サキ(崎・崎・岬・崎)陸地が海や湖などへ突き出た所。または陸上で山や丘が平地につき出した所。はな・でばな(日本国語大辞典)ハナ(端・初)熊本県の方言では舟のへさき、海へ突き出た土地を云う。

この「海と緑をつなぐ」連載で津奈木の海辺が埋立てられて、もう潮の香も消えてしまった地名を掘り起している。その手がかりはサキ・ハナにある。

「浜崎貝塚」から津奈木駅にかけての丘陵が浜崎で、海に突き出ていたから地名となった。この丘陵が対岸の桜戸まで僅か百米。その左にひそむ谷あいの形がひょうた



文化七年当時の海岸線 津奈木川下の浜村尻と文化九年の干拓地

のらうか。ヨロイ崎のなかに埋もれていたのらうか。(以下次号)

県生涯学習モデル市町村事業に指定される

!!津奈木町生涯学習推進会議開催!!

津奈木町が県の生涯学習モデル市町村事業の指定を受けました。二ヶ年間で実施するわけですが、本町が他町におかれているから指定を受けたのではなく、むしろ少し進んでいるので更に充実して進めてほしいという県からの推薦もあつて指定されました。実施の趣旨は、地域の特色を生かしながら、町全体で生涯学習を推進・振興を図り県全体の生涯学習・町づくりの先導的役割を果たすということです。

現在本町では津奈木町の町づくりとして、町民憲章のもとに基本理念を制定してそれにもとづく本町の社会教育目標を設定し、色々の施策を実行しています。それを



生涯学習推進会議

九州公民館大会が熊本市市民会館を中心に行われた!! 『今、求められる魅力ある公民館とは』

本年度は熊本大会ということで各都市にそれなりの役割分担が与えられ、特に津奈木町には第六分科会のテーマで実践発表が課せられました。

課題は「公民館活動の振興を図るための公民館運営審議会委員のあり方を考える」というもので実際に即した発表を、津奈木町公民館運営審議長の山下茂先生が発表されました。

第47回九州地区公民館研究入会 第6分科会 公民館運営審議会



すばらしい発表の山下先生



読書感想文 かえるの王さま 平国小2年 村しま ゆい

わたしは、「かえるの王さま」と言うお話を読みました。

このお話には、おひめさまとかえるが出てきます。

森のいずみにまりをおとしてしまったおひめさまは、かえるに、「ぼくといっしょにごちそうを食べて、同じベッドにねかせてくれるなら、まりをとってきかえようよ。」

と言われ、かえるにまりをとってもらいましたが、よくよくをまもらせませんでした。

わたしはよくよくをまもらないのはいけないと思いました。

その後、王さまにやくそくをまもるように言われたおひめさまは

「わたしは、おひめさまがかえるをかへにあげたのはわるいと思うけど、まほうがとけて、王さまがもとのすがたにもどれたのは、本当によかったと思いました。」

そして、王さまもおひめさまも、しあわせになれたのでよかったと思いました。

わたしは、どくしが大すきです。これからは、たくさん本を読んで、心やあたまでどんどんえいようをとっていきいたいと思っています。

自然石と向い合つて 石神観音が完成

鶴野 達雄さん(71)

今年の五月号では、四季彩の絵画を一面にご紹介したが、この度昨年の四月から制作に取り組んでこられた石神の現場をお訪ねした。

成田光義さんから依頼された制作だったが、「石を見た時、さつまいも型をしていて観音さまに見えたので



石神観音と制作された鶴野さん

彫つてみようという気になった」と話された。作業の取りかきはグリーンゲイトでの彫刻教室で、講師を務められた吉井謙一先生、旭志村在住)を石を持って訪ね、必要な道具を教えて頂くことからだ

った。玄武岩は固く、ダイヤモンドプレート(削岩機)を使って切り目を入れ、少しずつ削る作業の繰り返しだったようだ。そして今年の六月末に完成。現在地に八月二十四日設置された。素晴らしい出来映えの石神観音に驚き、ぜひ多くの方々に足を運んで欲しいと願いながら現場を後にした。

鶴野さんが本格的に美術に取り組まれたのは、宮永先生津中の美術担当)の時絵画クラブができたのがきっかけになり、また、川上先生(スペイン在住)との出会いで、粘土彫刻(テコラッタ)にも楽しまれている。ますます幅が広い創作活動になりそうである。(澤井記)



津奈木小学校だより 「陸上競技部」

さわやかな秋空のもと運動会のシーズンである。

津奈木町は伝統的にスポーツが盛んな町であり、なかでも陸上競技に励んでいる。

県大会では、毎年数名の上位入賞者を出し、四年生では四百メートルで優勝した実績もあり、また、郡市陸上記録会小学校の部では四連勝の原動力ともなっています。

走ることは、すべてのスポーツの基本であり、また、集団行動を通して協力の精神や礼儀など社会性を身につけるのに最適な活動です。

短歌

宮崎 優選

白浜美和子
茅の葉に露の白玉輝くを硯に取りしふるさとの庭に

肥後狂句

白萩のつばみいまだも幼きに九月の暑き陽のめぐりおり
参考歌 三宅霧子

水沸きぬ青田に風のそよぐ日よ穂肥ふりゆく頬を覆いて
福田八重子

手を取りてかたみに友情あたたため長生き得し古希の宴のなかに
柳迫いづも

涼風を求めて歌集ひもとけば睡魔は襲う真夏の午後
野田浦子

稲穂田に泳ぐがごとく稗をぬく山狭に人影見えかくれる
寺本ツルヲ

年重ね世にはや益なくいたづらに生きゆく吾に今日も陽はさす
一笠一句ずつ十二月十日まで
つなぎ文化センターへ



思い出すままだに

中村 ミス

は顔馴染みの方で何となく安堵感がありました。振り返ってみますと、屋久島では長男を自宅で出産し、延岡勤務の時は、門川に赴任して二週間に長女が生まれまして、長男が小学校へ入学したばかりで三回も転校を、それも主人の

いですが、その都度添書きがし